

金杉台中学校を御滝中学校の小規模分校として存続させることを求める陳情  
(新型コロナウイルスから命を守る視点で)

〔願意〕

新型コロナウイルス感染から子供たちの命を守る視点から、金杉台中学校を御滝中学校の小規模分校として存続させることを求めます。

〔理由〕

令和2年3月5日の教育委員会会議臨時会で、令和5年4月に金杉台中学校を御滝中学校に統合するという方針が決まりました。しかし、まだ市議会本会議では議決されていないため、この方針の撤廃・変更は法的に可能です。現在の新型コロナウイルス流行によって、子供たちの命が危険にさらされているという状況を鑑みて、小規模校である金杉台中学校を廃して御滝中学校に統合するのではなく、金杉台中学校を御滝中学校の小規模分校として存続させることを求めます。

新型コロナウイルス感染のリスクを下げるために、世界中でいわゆる「三密」を避けることが求められています。金杉台中学校は1クラス20人程度の小規模校であり、通常規模校や大規模校に比べて感染リスクの小さい環境と言えます。こういったより安全な環境を廃して、感染リスクの高い環境に子供たちを一律に送り込むのではなく、金杉台中学校を御滝中学校の分校として存続させれば、感染リスクのより小さな環境を選択肢として用意することができます。そうすることで、例えば、基礎疾患があるために感染すると重症化が危惧される生徒に対して、より安全で安心な教育環境を用意することができます。生徒の命を守ることに配慮することができます。

また、金杉台中学校を御滝中学校の分校とすれば、金杉台中学校の設備を全て部活動の練習場所にすることができるため、御滝中学校本校で学ぶ生徒にとっても教育環境改善になります。船橋市教育委員会が重視する部活動数や切磋琢磨の問題も解決できます。

以上の理由で、教育委員会会議で決定した金杉台中学校を御滝中学校に統合する方針を見直し、金杉台中学校を御滝中学校の小規模分校として存続することを求めます。何よりも、子供たちの命を守ることを優先してください。